

史学委員会教育現場・社会における歴史実践と歴史認識に関する分科会（第26期・第4回）
議事要旨

日 時：令和7年6月14日（土）10：00～12：00

場 所：オンライン（Zoom）開催

出席者：大橋 幸泰(世話人)、奥村 弘、小田中 直樹、鎌倉 佐保、川島 真、河西 秀哉、京樂 真帆子、栗田 禎子、久留島 典子、小嶋 茂稔、小浜 正子、近藤 孝弘、坂井 俊樹、佐野 正博、三時 眞貴子、鈴木 茂、中村 元哉、林 佳世子、平野 千果子、若尾 政希(以上、20名)

欠席者：飯塚 幸、石居 人也、加藤 圭木、姫岡とし子、高橋 博子、中野 聡、都丸 潤子

議題

1. 前回の議事録の確認

前回議事要旨の確認を行い、承認された。

2. 歴史教育のシンポジウム(2025.10.25日開催)
今年度のシンポジウム企画について原案通り承認された。

3. 今後の活動について

委員長からこれまでの日本学術会議で議論されてきたことを踏まえて、論点の整理が行われた。これをもとに、グループに分かれて議論を行い、分科会として意見をまとめていくことが承認された。

4. その他

日本学術会議の法案成立を受けて今後の動きについての報告と意見交換が行われた。7月5日（土）10時から開催を予定している史学委員会主催の日本学術会議法案成立を受けての意見交換会について情報共有があった。対象は会員、連携会員、学協会関係者であり、オンラインで開催される予定である。

以上